

令和4年度第1回富里市男女共同参画社会づくり懇談会

議 事 録

〈日時〉 令和4年7月7日（木）

午後2時00分～3時00分

〈場所〉 すこやかセンター2階会議室1

■出席者

【委員】 渡邊薫座長（教育関係者）

秋葉隆座長職務代理者（富里市商工会）

田口実栄子委員（千葉県男女共同参画地域推進員）

大森秀明委員（公募委員）

本多円佳委員（公募委員）

宮本和子委員（富里市民生委員児童委員）

鈴木隆次委員（富里市企画財政部長）

【事務局】 細野経営戦略課長、藤田課長補佐、小澤主査補

【傍聴人】 なし

■配布資料

- ・ 令和4年度第1回富里市男女共同参画社会づくり懇談会次第
- ・ 資料1 富里市男女共同参画計画（第2次）改訂版の進捗状況（令和3年度分）
- ・ 資料2 富里市男女共同参画計画（第2次）改訂版進捗状況調査票（令和3年度分）
- ・ 資料3 富里市男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書（概要）
- ・ 資料4 富里市男女共同参画計画（第3次）策定スケジュール

■次第

- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 市長あいさつ

4 議題

- (1) 富里市男女共同参画計画（第2次）改訂版の進捗状況（令和3年度分）について

【事務局】資料1及び資料2に基づき説明。

【委員】評価とあるが、評価は誰がしているのか。所管課がしたのか。別な部署で評価したのか。

【事務局】庁内横断的に庁内組織があり、それぞれの担当課で評価している。

【委員】担当課がしたということは、自前での評価となるので、第三者がした方が評価としてはより良いのではないか。例えば、経営戦略課でした方がいいのではないか。

【事務局】提出していただいた評価で、達成度が低い場合は、その原因等を担当課にヒアリングはしているが、評価自体は担当課にお願いをしている状況である。今回、この懇談会で御意見をいただければと考えている。

【委員】Aと評価してしまえば、全体的にレベルアップしていかないと見受けられる。より一層レベルアップしたい場合は、考え方を変えて、第三者的な立場で評価をして掘り下げた方がいいと思うが、難しいのか。

【事務局】第三者の意見は重要だと考えている。こちらの懇談会で忌憚のない御意見をいただければと考えている。

【委員】進捗状況調査票の評価について同じ意見なのだが、4年前にも私が意見をさせていただいた。例えば、9番は「24時間電話相談などの相談窓口の情報提供を行います。」とあり、情報提供を行えば評価はAになると思うが、その情報提供を行ったことで、前よりも情報が行き届いて効果があったのかとか、そういった方法で評価することが、本来は意味のある評価ではないかとお伝えしたが、そこから3年、4年経って、改善というのか、取組として変わったことがあれば教えて欲しい。変わってないのであれば、意見をしているのに

変わらないのはなぜか、そのあたりのことをお話いただきたい。

【事務局】 数値目標は、計画策定時に設定したものであり、それに対する実績がどうだったかをこれまで評価してきている。3、4年前にも御意見をいただいたということで申し訳ないが、今回策定する第3次計画で新たな数値目標を設定するが、いただいた御意見を踏まえ、評価方法についてもあわせて検討していきたい。

【委員】 計画の策定は、どういった組織で行うのか。第三者機関や一般市民の方が含まれるのか、庁内の職員だけで集まってつくるのかによって、内容が変わってくると思う。私達の意見はどれぐらい生かされるのか。これまでと同じようなものがつくられても意味がない。また、一般の方達の意見はどのように把握するのか。

【事務局】 次期計画の策定は、庁内の組織として、部課長が構成員の男女共同参画推進本部会議があり、その下に担当職員が行っている研究班会議がある。これら2つの組織で素案について、考えて決めていく形になる。そこである程度、骨子や計画案が出来たら、こちらの懇談会で御意見をいただきたいと考えている。懇談会でいただいた御意見を踏まえ、素案から案へとブラッシュアップして、その後、パブリックコメントを実施し、市民の方の御意見を吸い上げたいと考えている。パブリックコメントが終わった後、修正等の必要があれば修正をし、最終的に計画決定の予定である。

【委員】 近頃、国や市で自分達が作ったもので問題が発生した時に、「第三者を入れておけば良かった」とニュースで聞くが、市の職員だけで作るのではなく、最初から男女共同参画推進本部会議又は研究班会議に男女共同参画に造詣の深い第三者を入れることによって違ってくるのではないかと思うが、そういった考えはないのか。

【事務局】 こちらの懇談会の所掌事務として、男女共同参画の計画に関して、施策の計画策定や推進に関することについて意見を述べることとあるので、市としては、公募の委員の方も参画していただいている懇談会の中で、市民の御意見をいただきたいと考えている。

【委員】市の最上位の総合計画が改訂され、それに則った枝葉の計画を策定することになっていく。これまでは「2回広報した」ということが評価であったが、今後は「2回広報したことで、何を達成したか」が評価になっていくと思う。

また、「市役所で職員が計画を作る」という形を使っているが、以前はなかった懇談会で御意見をいただきたい。そして、いただいた御意見については、庁内で共有するようにしている。

【委員】取り組んでいることは大事なことで、実施したことも素晴らしいことだと思う。評価については、目標値が変わってくれば変わるというのも前向きでありがたいことだと思う。

現状の達成度はわかったが、委員として知りたいことは、例えば、「〇〇を周知しました」という場合、その周知をしたことで、どれくらい利用者が増えたのか、その取組で果たして効果があったのかを知りたいので、各部署で数字を把握しておいてもらい、知りたいと思った時に「何パーセント伸びました」というように、数字を答えていただけるような体制にしておいて欲しい。数値化されているとわかりやすく、一歩でも二歩でも進んでいる気がするので、お願いしたい。

【委員】8番の防犯対策について、実績値が週5回以上となっている。私は日吉台で防犯指導員をやっていて、日吉台は週2回青パトをまわしているが、他の地区で週5回何をやっているのかを知りたい。また、もう1点私が言いたいのは、防犯指導員には男性しかいない。週5回という回数ではなく、防犯指導員の男女の比率や女性の意見で大切なものがあつたというような記述が必要ではないか。

【委員】私の地域では、毎日、子ども達が帰る時間に青パトがまわっているので、そこが入っているのではないかと思う。私も、防犯指導員に女性がいなことに疑問を持っていた。

(2) 富里市男女共同参画計画（第3次）策定について

【事務局】資料3及び資料4に基づき説明。

【委員】女性が参画できないということは、女性の社会参加をサポートする体制が出来ていないことが大きな理由ではないかと思う。そこで私が知りたいことは、富里市議会には女性議員が何人いるのか。女性議員の割合を何パーセントにしようと、選挙管理委員会なり、市議会なりで決定してもらえるような施策をしたことがあるのか。それをやってみて、選挙管理委員会で指定する、議会が指定するということであれば、それは問題ないのではないか。声をかけてみる必要があるのではないか。例えば30%は女性、50%は女性にするとか、そういう形でやっていけば、市内の他の団体でも、例えば、防犯指導員が全部男ではまずいのではないかとか、市内には女性の活躍できる場がたくさんあるので、そういう意味でも、まずは上から見本を見せてくれる形で、働きかけをしてくれればいいのではないかと思うが、いかがか。

【事務局】現行計画の中で、審議会や懇談会、委員会等の女性の登用率を3割以上という目標は定めている。それを議会に当てはめられるかは別の話になるが、市としては、現行計画で審議会等をはじめとする政策に関わるような会議の女性登用率3割ということを目指している。この懇談会でいただいた御意見については、全庁的にお知らせをするので、委員からいただいた御意見についても、議会事務局には、いく形となる。

【委員】それに関連して、議会の中で誰が賛成で誰が反対したか、そういう具体的なことを市民にお知らせするとか、そういうところまでやらないと、暗黙のうちに今までどおりでいいとなってしまうので、どんどん働きかけていくような施策が必要だと思う。

【委員】アンケートは2,000名対象で、回収率が32.6%とのことだが、市としては何パーセントの回収率を目指していたのか。

【事務局】一般的にアンケート調査での回収率は3割以上が目安とされているので、それ以上は回答をいただけたとの認識である。

【委員】回答数は、600件ぐらい集まればいいと考えていたのか。他市町村でも意識調査をするに当たって、何%ぐらいの回答を基準にして調査結果を出しているのか調べてみたが見つからなかったの

で伺っている。

回答数をもっと得たかったのであれば、今後は4,000人に送付するとか、満足する数値であったのかお聞きしたい。

【事務局】 アンケートの数は、富里に住まわれている20歳以上の男女が、約42,000人いらっしゃる、統計上、42,000人でアンケートを行う場合に必要な回答数は400程度とされている。30%程度の回収率で400の回答数を得るためには、42,000人のうち1,400人にアンケートを配布すればよいとされているが、より多くの方々の御意見を伺うため、2,000人に送付した。

【委員】 20歳以上だけが男女ではなく、0歳～19歳も男女がある。小学校中学年から大学生ぐらいまでは、男女の格差やジェンダーなど、いろいろな問題について考えていると思う。未来をつくる人達の意見が反映されていないような計画の内容では、せっかく作るのにもったいないと思う。出来れば、学校に協力してもらって、アンケートが出来たらいいと思う。

【委員】 回答者の年齢を見ると、50歳以上～70歳以上が約6割をしめているので、年齢層別にも、まんべんなく市民の意識調査が必要ではないかと思う。6割が高齢者でまとまった市民意識では、違った方向に出ると思う。今後は、そういったことも必要だと思う。

【委員】 男女平等意識の設問で、「学校教育の場」は非常に差がある。これは教職員について聞いているのか、生徒のことだけを聞いているのか、先生たちが男女で差があると思っているのか、生徒が思っているのか、どちらのことも含めて言っているのか。

【事務局】 このアンケートでは、「次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。」という聞き方をしている。端的にアンケートに答える方が、社会全体でどう考えるか、学校の中でどうなっているかとか、それぞれの分野でどう考えているかを答えてもらっている。学校教育の場は、48.6%が男女平等であると回答しているので、最も割合が高い。

【委員】SDGs 若者プロジェクトを、市民活動推進課で、現在行っている。SDGs に男女共同参画も全て入っていると思うが、参加者に向けて市では男女共同参画でこういったことをやっているとか、懇談会の案内など、そういった話はされているのか。

【事務局】現状としては、若者プロジェクトの方々に、男女共同参画の取組の御案内はしていないので、早速お話はさせていただく。

【委員】SDGs 若者プロジェクトに参加している人達に、事業をやっている課だけに関わるのではなく、庁内全体でコミュニケーションをとり、子ども達を応援して欲しい。また、こうして懇談会に参加している私達にも、ぜひ知らせていただきたい。

6 その他

【委員】市民意識調査をしたことは大事なことで、意識調査結果が出てきたことで感じていることがたくさんある。この場で終わらせてしまい、次の意識調査も同じように実施するのはいけないと思うので、懇談会以外で時間をかけてお伝えできる場が欲しい。

【委員】私達世代の後を継いでくれる人達で、意見がおさまる程度の人数が意見を出せる場を市で計画してくれると、富里市が良くなっていくと思う。民生委員にしても何にしても、後を継いでくれる人達がない。若い人達が話し合う場を設けてくれればと思う。

【委員】市民活動団体、自治会、その他のグループなど、具体的にポイントを決めて調査を行うとか、議題をいれてやってもらうプロジェクトが必要だと思う。とにかく知らせなくてはいけないので、機会を捉えて知らせるということを頭の中に置いておいて、市民活動推進課の協力や自治会、いろいろな団体の協力を得ながら、説明や調査、意見をもらうことを考えに入れていただきたい。

【委員】千葉県の男女共同参画地域推進員で、4月から北総地域のリーダーになった。千葉県男女共同参画推進員は、月1回の会議があり、ここで各市町がそれぞれの取組や事業のPRなどを行っているが、富里市として男女共同の取組やそれに関わる市内で行われている事業

について、何も伝えることが出来ていない。私はこの懇談会と北総地域の会議に参加しているだけで、地域推進員としての役割を果たせていない。一人で何をすればいいのかわからないのが現状である。今後、皆さんに協力をお願いすることがあると思うので、その時はお願いしたい。

7 閉会